

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 杏園会)
 事業所名 (介護老人保健施設かなやま)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 7 月 18 日	10	平成 29 年 7 月 18 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

平成 29 年 6 月 23 日 Wi-Fi 環境の整備。平成 29 年 7 月 3 日眠り SCAN 設置。平成 29 年 7 月 18 日運用開始。

- ① 利用者様の睡眠リズムを把握することにより、転倒・転落を 10%削減する。
- ② ナースコールの減少 (センサーマット作動時のナースコールを含む)
- ③ 夜勤職員のストレス及び業務量軽減

上記を目標とし運用を開始した。

使用対象者：当機器を使用する事により睡眠状況の改善、事故防止に繋がると考えられる方に常時変更し使用している。

- ・認知症を含む疾患により転倒・転落のリスクの高い方
- ・夜間の尿失禁改善が必要な方
- ・看取りケアが必要となった方
- ・在宅復帰に向けて夜間状況の確認が必要となった方

運用開始後、Report のデータから適切なケアの提供の為、フロアごとに検証している。

【介護ロボットの導入効果】

目標に対する導入効果

- ① 眠り SCAN を使用された方の夜間における事故件数
 全体の事故件数の減少には繋がっていないが、これまで度々転倒・転落を繰り返されていたご利用者様が使用開始後、適切な時間帯での排泄ケアを実施できており、夜間の転倒・転落に至っていない。
- ② ナースコールの減少 (センサーマット作動時のナースコールを含む)
 モニターで見える化されており、必要時に介助を行う事で、センサーマット作動時のナースコールの減少に繋がっている。
- ③ 勤職員のストレス及び業務量軽減
 職員アンケートの結果、これまで使用していたセンサーマット等は人為的なミスによる事故 (電源の入れ忘れ) 等があったが、導入後は人為的ミスの削減に繋がっている為、職員のストレスの削減にも繋がっている。
 また、夜間の訪室回数の削減ができ、多い方では 10 回以上の削減に繋がっている。さらに、看取り期の方にも使用させて頂くことで、夜間の利用者様の状況を把握でき、スタッフのストレスの軽減に繋がっている。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ライフサービス)

事業所名 ((株)ライフサービスひだまり)

サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウント株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年8月1日	1台	29年8月1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊サービス利用者をはじめ、日中の休憩時にベッドを使用する方へも設置をし離床時の確認、睡眠状況の把握として使用している。 ・ 宿泊については月間5～6日程度、日中の休憩については12日程度の頻度で使用 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの見守り業務の負担軽減や離床時の駆け付けなど不用意な業務が軽減された。 ・ 利用者の日中の身体状況からの続きで睡眠状況(睡眠状況、離床間隔、呼吸数)の把握をすることで日中のケアの内容につながっている。 ・ 夜間の離床間隔や睡眠状況を把握し、家族への情報提供に役立っている。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 長福会)

事業所名 (特別養護老人ホームデイパーク大府)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守りケアシステムM1 (FRB-N132 W2/M1)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年10月18日	8台	H29年10月18日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・昼夜逆転傾向のある方や、ベッドからの転落や転倒の危険性の高い方8名を対象に、常時使用している。
- ・使用方法は、対象者の方の状態を考慮し、ベッドから上体を起こした時、ベッドに端座位を取った時、ベッドから立ち上がった時の三つのパターンでそれぞれの対象者の方を設定し、ナースコールに連動させている。
- ・当該機器からの知らせで、状態を確認するなどして、各ユニット会議等にて、24時間シートの作成や、個別ケアなど、対象者の方の生活リズムに合わせた適切なケアに反映させている。

【介護ロボットの導入効果】

- ・対象利用者の方の生活リズムの把握につながり、夜間の訪室のタイミングなど、どの時間帯の訪室が効果的か、また睡眠のリズムなども把握する事ができ、不必要な訪室を減らすことができ、夜勤職員の介護負担の軽減や、適切な介護の質の向上に役立っている。
- ・従来のマットセンサー等と違い、誤作動が少ないことや、対象利用者の方の特性に合わせ、コールが設定できるため、転倒や転落のリスクが高い対象者の方に非常に効果的に事故の予防対策になっており、特に夜間帯などの配置人員の少ないときに、職員の精神的身体的負担の軽減に繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (豊田福寿園)
 サービス種別 (短期入所生活介護施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams/アアムス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 8月 31日	1台	29年 8月 31日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>見守りロボットを導入したことにより、認知症疾患のある方に対して迅速に対応できるようになり、転倒のリスクが軽減できました。また、夜間のケアに対しても安心してできるようになり、精神面・肉体的ストレスの軽減がはかれ、円滑な見守りができるようになった。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>ご利用者様の急な状態変化をアラートで知らせてくれたり、記録を残すことができるようになりました。</p> <p>また、モニターで状態確認ができ、夜間時のラウンド業務の軽減と職員のストレス軽減にも繋がり安心して仕事をするできるようになりました。今後もデータ等の分析も行い、ご利用者様はもちろん職員に対しても介護ロボットを利用していき、安心・安全なケアに取り組んでいきます。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 福寿園)

事業所名 (豊田福寿園)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りロボット		aams/アアムス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 8月 31日	1台	29年 8月 31日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

見守りロボットを導入したことにより、認知症疾患のある方に対して迅速に対応できるようになり、転倒のリスクが軽減できました。また、夜間のケアに対しても安心してできるようになり、精神面・肉体的ストレスの軽減がはかれ、円滑な見守りができるようになった。

【介護ロボットの導入効果】

ご利用様様の急な状態変化をアラートで知らせてくれたり、記録を残すことができるようになりました。

また、モニターで状態確認ができ、夜間時のラウンド業務の軽減と職員のストレス軽減にも繋がり安心して仕事をするできるようになりました。今後もデータ等の分析も行い、ご利用様様はもちろん職員に対しても介護ロボットを利用していき、安心・安全なケアに取り組んでいきます。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人貞徳会)

事業所名 (ショートステイ川名山荘)

サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		パラマウント株式会社 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成29年7月28日	1台	平成29年7月28日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<ul style="list-style-type: none"> ・当該導入機を含め、施設(特別養護老人ホーム・ショートステイサービス)内の眠りスキャン整備台数が10台となり、各ユニットに1台を配置している。 			
<活用方法>			
<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状況を把握し、日中の活動意欲を高め、睡眠の質を良くする。 ・睡眠状況を把握し、眠りの妨げにならないよう、訪室及びおむつ交換を実施する。 ・睡眠状況を把握し、朝の起床時間を適切な時間に促す。 ・心拍数や呼吸状態を把握し、体調の変化を観察及び記録する。 ・看取り介護時に使用し、睡眠状況・心拍数・呼吸状態等のデータに基づいた対応を行う。 ・離床センサーとして活用し、転倒の危険性を察知し、事故予防に活用する。 			
【介護ロボットの導入効果】			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の日中の活動意欲を引き出す支援を検討するようになった。 ・利用者様の安眠が保てるようになった。 ・職員の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少した。 ・夜間の適切なおむつ交換に努め、皮膚トラブルが減少した。 ・呼吸や心拍数の状況から、痰がらみ・肺炎・除脈等の変化を把握できるようになった。 ・看取り介護時、冷静な対応をとることができた。 ・転倒の回数が減少した。 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠りスキャン (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 7月 28日	8台	29年 7月 28日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

以前購入した同機器とともに、各ブロックに4台ずつ配置して、各ユニットの記録ツールであるiPadや各ブロックのステーションにあるパソコンで本器を使用している対象者の状況や睡眠と覚醒のデータ等が確認できるようになっている。

夜間不眠の傾向が顕著な方等の睡眠と覚醒のリズムをしっかりと把握することが必要な方に主に使用している。

また、看取り期に入られている入居者に対しても、ご家族に適正な情報提供を行う観点から適宜活用している。

【介護ロボットの導入効果】

Wifiを通じて対象者の睡眠と覚醒のリズムの状況が、iPadやパソコン内にデータとして保存される。そのデータは対象者の状況を一日単位ではなく、1週間、1カ月単位で比較ができるため、対象者の習慣的な生活リズムの把握に役立っている。その把握したデータは、適切なケアの展開につなげやすいため、対象者の昼夜逆転のリズムの解消への働きかけや夜間不眠後の歩行不安定な対象者に対するリスクマネジメントなど、導入前よりも本器で取得したデータという明確な根拠に基づいた適切なケアにつなげることができている。

また、看取り期の入居者に対する活用では、本器で心拍数や呼吸数を把握できる機能などを存分に活用し、看取り期のカンファレンス等で、ご家族に対して、適切かつ詳細な対象者情報の提供が可能となっている。対象者が現在どのような状態にあるかをタイムリー、かつ的確に把握できるため、ご家族や職員が、今後どのように対応していけば良いのかを、的確に認識ができることにつながっている。

看取り期の方の状況をデータでしっかりと把握することは、まだ大丈夫という状況の職員の精神的な安心感や、いよいよ対象者が看取りの最終段階にいる場合の夜勤に入る際の心の持ち方にもある程度の影響があるようにも思える。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームカリヨンの郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステムM2 ベッドに内臓されたセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを判断し、見守りが必要な利用者の動きに合わせて自動で感知し、ナースコールに発報する。	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成29年9月25日	6台	平成29年9月25日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>ロボット型ベッドの使用効果についての表を作成、センサー効果・改善(誤報の有無)夜間の転倒リスクの軽減・利用者の状況把握に関する事を、具体的に記入できるチェック表にし、毎日行っている。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>ベッドからどの位置で利用者が転倒への危険性が高くなるかを観察した時、単独のセンサーでは誤報や電源の入れ忘れ、利用者が床センサーを跨いでしまっただけでコール反応が起きないなどの現象があった。このことから、介護側のストレスも大きくなっていった。今回導入した見守りベッドは、ベッド上で利用者の動きに合わせて自動感知し、また、見守りを同時に行ってくれる事で、職員の気持ちにも余裕が持てるようになった。特に夜間は職員数が少なくなるが、介護ロボットを導入したことで転倒リスクの危険性も減少し、誤報も報告されていない。見守りケアシステムにはパソコン端末に連動する事で、ベッド上での動きを瞬時に知る機能も備えられており、さらにハード面を強化する事で、有用なロボット型ベッドとして活用することが可能である。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (リハビリ・ショートねもころ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
平成30年1月25日	1台	平成30年1月23日	年 月 日から	年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】				
<p>○利用者の宿泊施設利用時に使用 入眠状況の把握で活用した。 夜間入眠状況をご家族や担当のケアマネージャーへ報告した。</p>				
【介護ロボットの導入効果】				
<p>○スタッフ間で利用者の夜間の就寝状況の申し送りに活用できた。 ○スタッフの夜間の巡視時間の目安になるなど、負担軽減につながった。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ジェネラス)
 事業所名 (小規模多機能型居宅介護ゆるり・あ)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		パラマウントベッド株式会社製 睡眠管理システム 眠りスキャン	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 1 月 25 日	1 台	平成 30 年 1 月 23 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○施設入居予定の方（登録利用者）に使用 入居先施設へ夜間入眠状況を伝えた。</p> <p>○登録利用者の宿泊中に使用 入眠状況の把握で活用した。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○夜間の就寝状況を申し送るのに活用できた。</p> <p>○利用者への効果は現時点では不明だが、職員の巡視時間の目安となるなど、負担軽減につながっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人共和会)
 事業所名 (共和病院)
 サービス種別 (介護療養型医療施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウントベッド株式会社製)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
29年 9月29日	2台	29年 9月29日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該機器を使用し、ベッドからの転落や転倒の防止を強化している。 ・高齢で医療依存度の高い入居者の状態観察を行っている。 ・終末期の利用者に使用し、覚醒状況、心拍数、呼吸数などを頻回な訪室をせずにモニタリングでき、安静とスタッフの負担を軽減している。 				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフルームから状態観察でき、利用者の夜間の睡眠を妨げずに済んでいる。 ・モニタリングの蓄積をデータ化でき、アセスメントできる。 ・亡くなられた場合、ご家族から何時頃心停止したのか問われることがあるが、データで記録してあるので正確に伝えられる。 				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームアルメゾンみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名		
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
29年9月26日	10台	29年9月26日	年 月 日から	年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者、終末期ケアの入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の場合は主に夜間帯、終末期ケアの入居者の場合は終日、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、終末期ケアの身体状況把握が可能になっている。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。終末期ケア時の変化しやすい入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>				

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福社会)
 事業所名 (コムネックスみづほ特定施設事業所)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠りSCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年9月22日	1台	29年9月22日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の主に夜間帯、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームウエルコートみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠りSCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年9月22日	8台	29年9月22日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>行動障害の著名な入居者、終末期ケアの入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の場合は主に夜間帯、終末期ケアの入居者の場合は終日、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、終末期ケアの身体状況把握が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。終末期ケア時の変化しやすい入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほショートステイ事業所)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム 眠り SCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年9月22日	1台	29年9月22日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 行動障害の著名な入居者に使用。ベッドマット下に敷き、24時間ユニットパソコン画面、ipad画面にデータを受信。行動障害の著名な入居者の主に夜間帯、睡眠、呼吸、心拍、動作状況をリアルモニタリングの実施継続。毎日の夜間従事者の見守り業務の効率化、身体状況把握が可能になっている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 モニタリングされた入居者の睡眠、呼吸、心拍、体動データの分析により、夜間介護従事者の見守り業務の効率化、行動障害の著名な利用者に対しても根拠立てたケアの提供が可能となってきた。データ分析内容については、ケアプランに立案し効果の確認を実施。データ分析からの日中の活動への新たなアプローチ方法が見直しされたことにより、行動障害の軽減も見受けられる。入居者の身体状況がモニタリング可能になったことで、介護従事者の見守りへの不安軽減に繋がっている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 清水会)
 事業所名 (まこと老人保健施設)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援システム		眠り SCAN (パラマウントベッド株式会社)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 8 月 10 日	2 台	平成 29 年 8 月 10 日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

以下のような入所者を対象とし、ベッドに設置し入眠状況の把握を行っている

- ・ 睡眠状態(時間や深さ)が不安定でその傾向を把握したい
- ・ 夜間や早朝覚醒があり、転倒や転倒のリスクが高く、覚醒時すぐに様子を見に行きたい
- ・ バイタルサインの変化の早期発見が特に必要である(ターミナルケアなど)

ユニットリーダーからの希望をもとに、優先順位や期間を検討し、介護主任が使用を許可する

【介護ロボットの導入効果】

入所者のアセスメントをするうえで重要な情報となっている

- ・ 明確なデータがある為、医療職との連携がしやすく投薬内容や投薬時間の検討に役立っている
- ・ ケアプラン作成時、臥床と離床時間のバランスやタイミング、転倒、転落などの事故防止対策などの立案がしやすくなった(ケアの個別性、質の向上に繋がる)

睡眠へのアプローチを考えたケアの効果を検証できる

- ・ アロマやヒーリング音楽、足浴などの睡眠効果を検証し、入所者に合ったケアが検討できる

ターミナルケアを行う際の職員の負担軽減に繋がっている

- ・ 夜間帯の職員配置が少ない時にも入所者の変化に早く気付くことができている

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人愛生館)

事業所名 (老人保健施設ひまわり)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠りSCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成29年11月29日	4	平成29年11月29日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

入所者対象として、4ユニットに各1台ずつ配置している。

- ①夜間等の転倒転落のリスクが高い入所者の事故防止
 - ②看取りとなった利用者のバイタル等の状態の把握
 - ③夜間不穏行動がある入所者の睡眠・覚醒・離床等の状態把握
- 主に上記3つの目的で活用している。

【介護ロボットの導入効果】

- ①ベッドからの離床が分かり、転倒・転落事故が未然に防げた。
- ②看取り利用者に使用、呼吸数減少時の把握ができ家族へ速やかに連絡し家族に見守られながら最期を看取ることができた。
- ③眠りの深さ、眠りの時間、パターンの把握ができ、次のアプローチの材料（薬の調整・介護ケアの対応）になる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (東海エイド株式会社)
 事業所名 (グループホームなごみや)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 12 月 7 日	2 セット	平成 29 年 12 月 7 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>平成 29 年 12 月 7 日にメーカー担当者より現場スタッフへの取扱説明を受け、導入を開始。入居者の睡眠リズムの把握に繋げるため、当該機器の効果や必要性(睡眠状態の把握、眠剤の薬効の把握、転倒転落のリスク回避など)を考慮し、ご家族への説明の後、了承を頂けた方に使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>① 個々に合わせた起床介助の実施が可能となる。 →起床介助時の転倒転落リスクが最も高いため個々に合わせた最適な起床時間に介助を行うことで事故予防に繋がった。</p> <p>② 眠剤の薬効の把握や薬剤師等への相談に活用出来る。 →眠剤使用者や使用間もない入居者に、適量かどうかを計る指針となる。睡眠データを活用し、薬剤師や主治医への相談や報告が容易に行えるようになった。また眠剤の必要性の判断材料としても活用出来た。</p> <p>③ 入居者の状態の把握(脈拍、呼吸)が可能となる。 →自ら体調の変調を訴えることが困難な入居者に使用し、状態の変化の際に迅速に対応することが出来た。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 清明福社会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 建国ビハーラ)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りベッド		見守りケアシステム M-2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成29年12月6日	3台	平成29年12月6日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

・御自分で車椅子を自走される能力はあるが、ベッド、車椅子間の移乗の際、立位不安定で転倒、転落リスクが高い方3名を対象に常時、使用している。

- ① 認知症により、危険に対する認識が薄く、何度も転倒を繰り返されている方。
- ② ナースコールを押して頂くように説明をしているが、なかなか理解が困難な方。
- ③ 御自分で移乗、移動されるが、下肢筋力の低下により、転倒、転倒リスクが高い方。

【介護ロボットの導入効果】

・利用者の体動や動作を検知し、スタッフルーム(ナースコール)に通知される為、1名の対象者についてはナースコールで会話をする事で訪室するまで待つ頂けるようになり、ベッドからの転落は導入前に比べるとかなり減っている。

・もう1名の対象者の方は、ベッド上でも多動でセンサーによるナースコールが頻回。センサーが鳴り、訪室するまでの間でも動かれてしまっている。ベッドを低床にし、ベッド横(床)にマットを敷く事で転落は何とか予防出来ている。センサーのモード設定(動きだし、起き上がり、端座位等)が上手く活用しきれていない面もあるが、以前に比べるとベッド付近での転倒、転落はかなり減っている。

・もう1名の対象者の方は、センサーベッドを導入後、体調や精神面が安定。それに伴い、掴まり立ち等の立位が安定し、ベッドからの転落は全くなっている。

・転倒リスクが高い方の所在確認を常に行っているが、見守りベッドを導入する事で、職員の精神的負担軽減にも少し繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知県厚生事業団)
 事業所名 (愛厚ホーム豊川苑)
 サービス種別 (指定介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守りシステム		カリストエール (パラマウントベッド社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
H29年11月27日	7	H29年11月27日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ①認知症で夜間不覚醒のまま歩かれ、転倒の危険がある利用者様に使用。
 センサーは起き上がりに設定した。これまではセンサーマット(床設置)を使用していた。
- ②ベッドから降りられるが、立位、歩行が安定せず転倒の恐れがある利用者様に使用。
 センサーは起き上がりに設定した。これまではセンサーマット(床設置)を使用していた。

【介護ロボットの導入効果】

- ①センサー反応あり居室に向かう。すでに立ち上がろうとされていたため、どうされたのか伺うと「トイレに行きたい。」とのことだったため、トイレ誘導実施しベッドへ戻られるまで付き添う。
- ①センサー反応あり居室に向かう。ベッドに端座位になり「仏様を参りに行く。」と言われる。しばらく傾聴し時間を伝え就寝を促す。
- ②センサー反応あり居室に向かう。ベッドに端座位になり靴を履いていた。どうされたのか伺うとトイレに行きたいとのことだったため、トイレ誘導しベッドに戻られるまで付き添う。

今までのセンサーマットは床設置のものであり、マットに触れないと反応しなかったため、コールがあり居室に向かった時には既に転倒されていたこともあった。①、②とも起き上がりに対しセンサーが反応するため、今までよりも早く居室に向かうことが可能であり、転倒事故を未然に防ぐことが出来た。

また、夜間の排泄失敗も減らすことができ、利用者様へ不快感を与えることなく就寝を促すことが出来た。

もし、事故が起こってから利用者を発見した場合、当然ながら応急処置や受診の付き添い等の対応が必要となる。また、失禁等があった場合は、清拭や着替え支援等を行うことになり、実際に職員の業務量としては増えることになる。今回の機器の導入により、事前に利用者対応が可能となったため、結果的に職員の負担を軽減できたといえる。

それに加え、転倒の危険があり、見守りが必要な方の場合、いつ動かれるか分からないという不安の中で他の利用者の支援や業務に携わることも多いため、他業務中でもその方の動きに合わせて、コールできちんと通知が来るということで職員に安心感が生まれ、心理的な面での負担軽減効果もあったといえる。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。